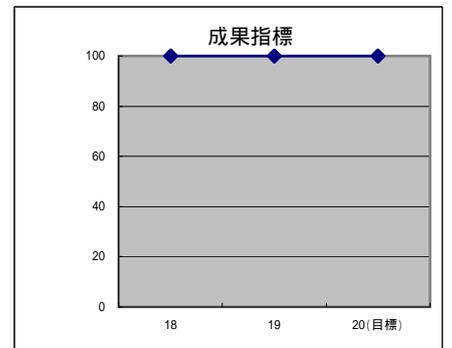
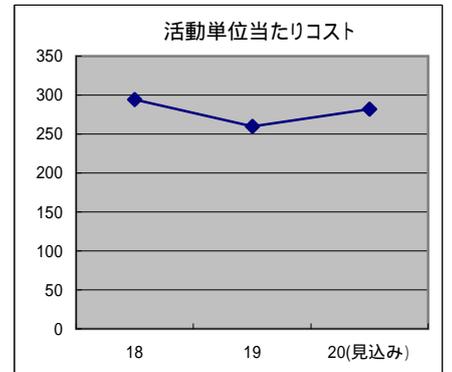


事務事業名		学校給食の実施と管理運営事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち		款	10	教育費
	施策(節)	2	学校教育		項	6	保健体育費
	施策の方向	(2)	教育環境の整備・充実		目	2	学校給食費
	関連する計画等				事業	2	学校給食
				作成部署	教育委員会学校教育室教育総務課		
				連絡先	072 958 1111 内線 7845		
事業の目的	対象(誰を・何を) 市立14小学校児童 意図(どういう状態にしたいのか) 教育の一環として、安心・安全な給食を提供し、児童の心身の健全な発達に資する。						
事業の内容	学校給食センターは、平成19年度も給食費で食材を購入し、1日約7,537食を14小学校に提供しました。また、給食をよりおいしくし、残食を少なくするために、学校長・教員・PTA代表・市議会議員を委員とする運営委員会、献立作成・物資購入委員会を開催し、施設見学会や試食会なども実施して、様々なご意見をお聞きし、日々、改善に努めるとともに、各学校での児童や保護者を対象とする食育指導も重要な業務として取り組んでいます。						
根拠法令等	学校給食法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、羽曳野市立学校給食センター設置条例他						
事業開始時期	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 47 年 月開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない			終了年度	平成 年度		
事業開始時からの状況変化	学校給食は、昭和47年4月に協会方式によりスタートしましたが、平成8年度からは、単独で学校給食会を設置し、(有)はびきのエル・エスに調理業務等を委託する現行方式に変更しました。						
市民や議会の要望	給食センターの施設改善・食物アレルギーを持つ児童への個別給食の提供・中学校給食の実施						
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	(有)はびきのエル・エス		委託内容	調理業務、各種設備保守管理業務他	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託						

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】	(千円)	407,474	362,995	420,241
人件費【2】	(千円)	12,592	12,482	12,485
職員数	正規職員	1.00 人	1.00 人	1.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	1.00 人	1.00 人	1.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	420,066	375,477	432,726
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)		
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	420,066	375,477
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度	19年度	20年度(目標)
年間供給給食数	食	1,426,817	1,447,123	1,536,000
年間給食実施回数	回	189	192	192
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)		294 円	259 円	282 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		3,489 円	3,129 円	3,609 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
給食実施率 (%)	式) 給食実施回数 ÷ 所要回数 × 100	設備の不備等による給食の中止がなく、安定提供できたことを成果とします。	100	100	100	100	100	100
						100.0%		
安心・安全な給食提供率 (%)	式) 食中毒未発生日数 ÷ 給食実施回数 × 100	食中毒発生0件を目標に、安心・安全な給食を提供しました。	100	100	100	100	100	100
						100.0%		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		有

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ	該当なし	分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		学校給食は、教育の一環として、法令に基づき実施し、児童の心身の健全な発達に資するとともに、給食を通じて、保護者への食育指導も行っています。	
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		学校給食は、調理業務を100%市出資の(有)はびきのエル・エスに委託することにより、給食センターの職員や経費を削減することができました。今後も設備の改善を進め、事業費のなかでも大きなウェイトを占める光熱費の削減にも努めます。	
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業費を削減する余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	市の他事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		河南3市協会学校給食会を脱会し、調理業務をエル・エスへの委託するとともに、早くから米飯給食を週4回を実施するなど、羽曳野市独自の給食を提供しています。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		各委員会を開催し、関係者のご意見をお聞きして、日々、給食の改善に努めています。また、施設見学や試食会での意見を集約して、献立の作成等に活用しています。	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		設備の改善、衛生管理に努め、食材の購入に細心の注意を払い、安心・安全な給食を安定的に提供しています。	
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

担当 部局 評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由	
	子供たちに、おいしい給食を提供するため、毎年、施設・設備の改善を進め、事務局、栄養士、調理現場のそれぞれが創意工夫して、1日約7,537食の給食をつくり、14小学校に提供しました。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	給食センターの安全衛生管理基準は、年々、厳しい内容に改正されています。このため、毎年、設備の改善に努めていますが、多くの経費を必要とします。このため、関係機関とともに設備改善計画を策定し、計画的に取り組みます。